

公共空間の活用の方向性について

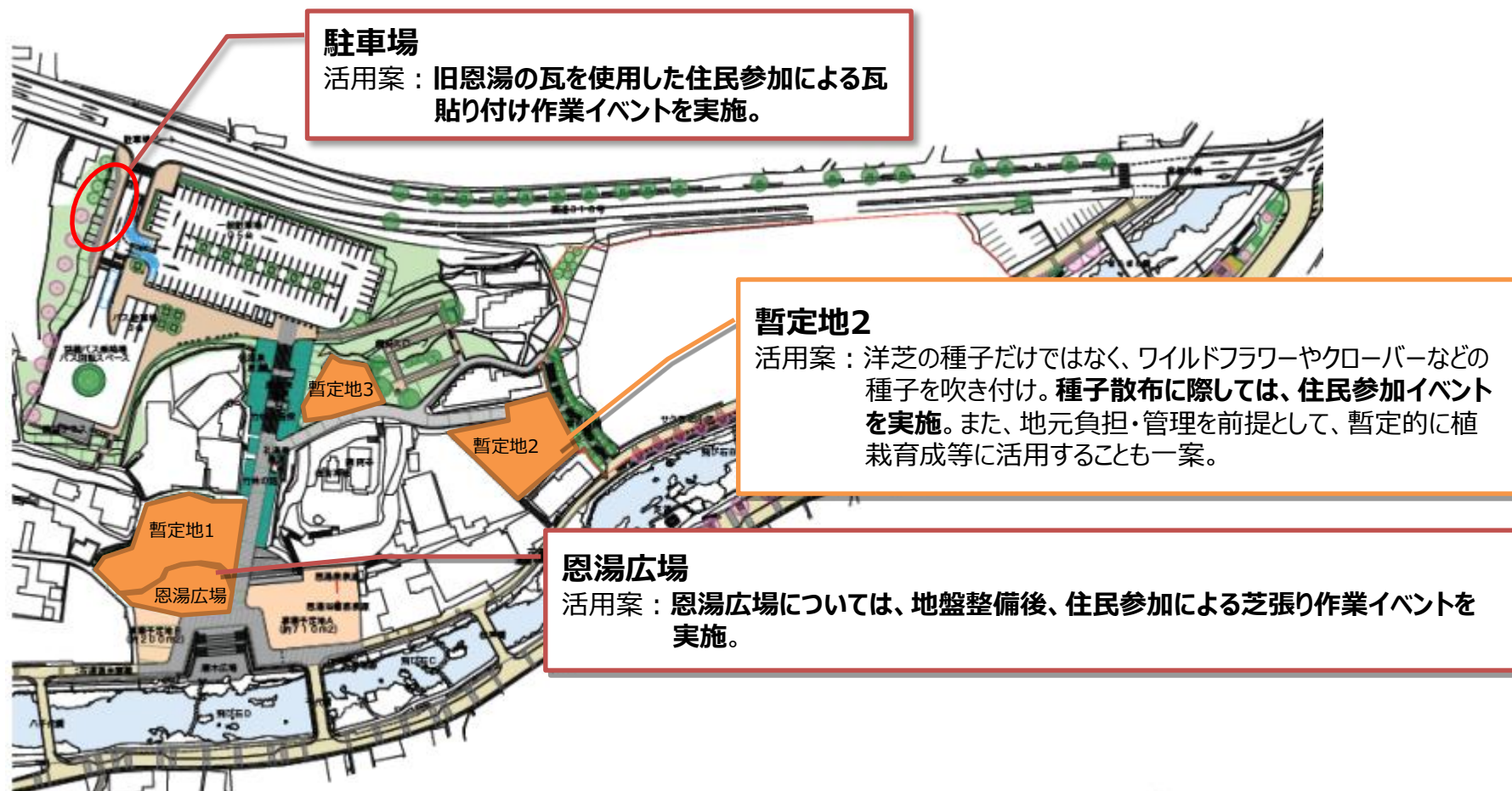
平成30年12月
デザイン会議

1. 住民参加型の公共空間整備案について

2. 駐車場の運営方針案について

住民参加型の公共空間整備案について

- 現在、紅葉の階段が完成し、今後、駐車場や恩湯広場などの整備が進展。
- これまで住民や地域の事業者と一体となり社会実験等を繰り返し、観光まちづくり計画を進めてきたところであるが、公共空間の整備工事そのものに住民等が直接かかわってこなかった。
- そこで、住民等も公共空間の整備に参加し、地域が一体となったまちづくりを行うワークショップを開催することを検討中。
- 11月18日に開催した住民WSで提案。引き続き、実施方法・時期などを地域と調整。



旧恩湯瓦張りワークショップ@駐車場（案）

- 観光客を迎え入れる新たな駐車場。その入口に旧恩湯の赤瓦を活用したランドスケープを造成する。
- 旧恩湯は地域住民の想いが詰まった思い出の品であり、これまでの旧恩湯への感謝と未来への想いを赤瓦に刻み込み、新しい長門湯本温泉のシンボルとする。



広さ：瓦約400枚@駐車場
基礎：駐車場造成工事において
瓦張りの基礎を造成。

WS実施概要

WS開催時期：2019年秋頃（駐車場造成工事の最後のイベントとして実施）

参加者募集：湯本みらいHP等を通じて参加者募集。地域住民を中心とし、市内住民を対象。

※参加者には事前に瓦を配布。裏面にメッセージを記入して当日持参。

※作業に際しては、市役所職員・デザイン会議メンバー等の指示の下に実施。

芝張りワークショップ@恩湯広場（案）

- 新たな長門湯本温泉の顔となる新恩湯に並んで整備される恩湯広場は、観光客だけでなく、地域の住民が集い、人々の交流の新たな場となる場所。
- みんなの広場をみんなで作りあげ、大切な場所として築くための第一歩として、芝張りワークショップを開催。

広さ：370㎡（平地）
使用者：長門湯守（市有地を貸し出し）
用途：ベンチ等を設置し、広場として活用



WS実施概要

WS開催時期：2019年秋頃（湯守による飲食棟等の整備、周辺道路の工事状況を踏まえて実施時期を調整）

参加者募集：湯本みらいHP等を通じて参加者募集。地域住民を中心とし、市内住民を対象。子供を中心に実施。

※作業に際しては、市役所職員・デザイン会議メンバー等の指示の下に実施。

種まきワークショップ@暫定地2（案）

- 今後、活用が期待される棚田スロープ・紅葉の階段からアクセスできる暫定地2において、将来的な利用が進むまでの間の活用策として、誰もが佇むことができる心地よい空間とするため、地域とともにワイルドフラワーなどの種を散布し、緑化空間とするワークショップを開催。
- また、利用が決まるまでの間、季節を通じて長門湯本温泉を楽しめるよう、様々な植物を育てる場所として、自由に活用できるようにする。

広さ：680㎡（暫定地2・平地）
管理者：長門市
用途：利用が決まるまでの間、広場として活用。また、各地に植栽を広げられるよう、植物を育てる場として暫定利用。



WS実施概要

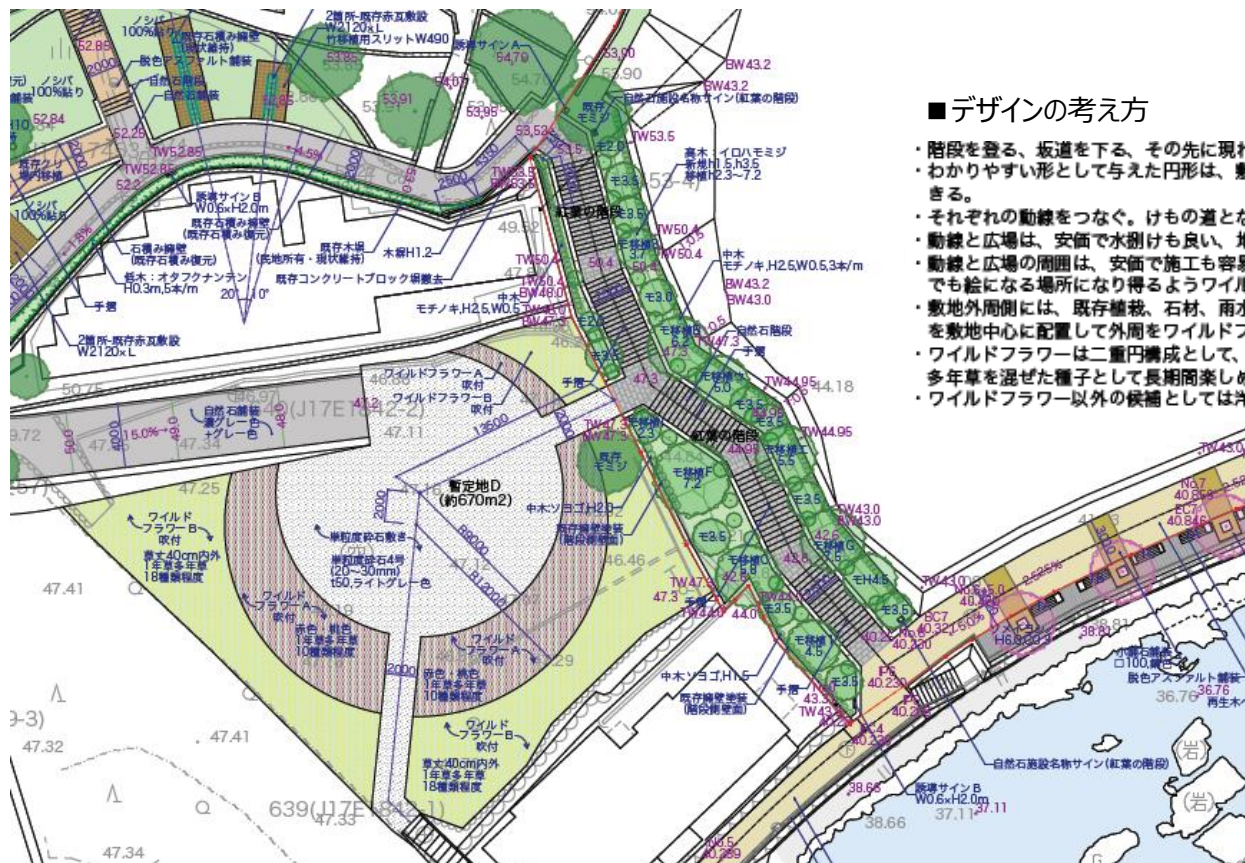
WS開催時期：2020年春頃（周辺工事の完了までは工事ヤードとして利用されるため、周辺の工事完了後に実施）

参加者募集：湯本みらいHP等を通じて参加者募集。地域住民を中心とし、市内住民を対象。子供を中心に実施。

※作業に際しては、市役所職員・デザイン会議メンバー等の指示の下に実施。

※暫定地3は市による工事において、種子散布を実施予定。

種まきワークショップ@暫定地2のデザイン案



■デザインの考え方

- ・階段を登る、坂道を下る、その先に現れる不定形な場に、わかりやすい形を与える。
- ・わかりやすい形として与えた円形は、敷地内からも認識される。また、坂路の上から見下ろすこともできる。
- ・それぞれの動線をつなぐ。けもの道とならないよう、なるべく最短距離でつなぐ。
- ・動線と広場は、安価で水捌けも良い、地元産単粒度砕石敷きとする。
- ・動線と広場の周囲は、安価で施工も容易な種子吹付（場合によっては手敷き）とする。なかでも、少しでも絵になる場所になり得るようワイルドフラワー種子を推奨する。
- ・敷地外周側には、既存植栽、石材、雨水側溝などが残されているため、来訪者が利用しやすいよう広場を敷地中心に配置して外周をワイルドフラワーの構成とする。
- ・ワイルドフラワーは二重円構成として、単色と混色などの種子構成とすることが考えられる。1年草と多年草を混ぜた種子として長期間楽しめるよう配慮する。
- ・ワイルドフラワー以外の候補としては洋芝種子、シロツメクサ（シロクロローパー）などがあげられる。



ポピー種子吹付植栽



シロツメクサ（シロクロローパー）植栽



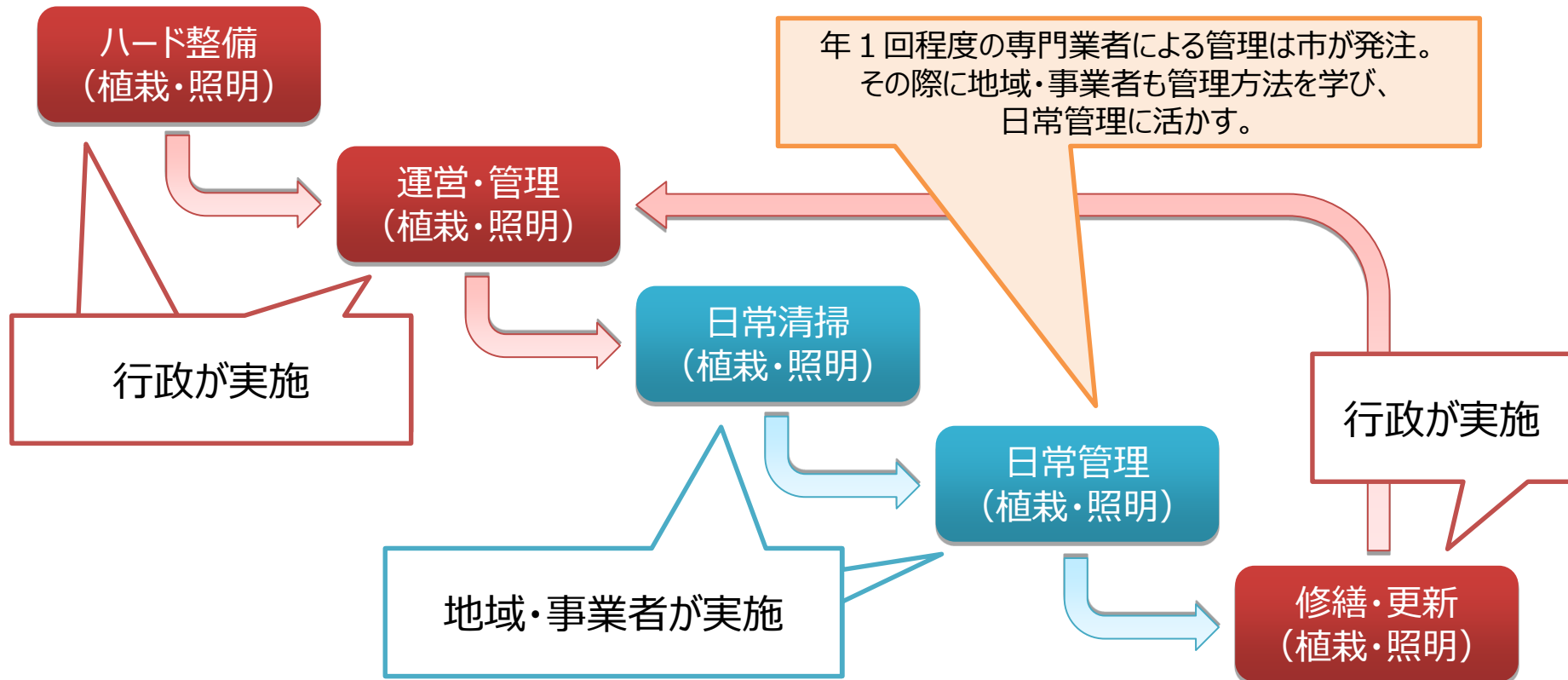
草道を一定幅で刈り込み通路化（草地の造形化）



基礎採石に使用される単粒度砕石

(参考) 公共空間の植栽等の日常管理について

- 公共空間の整備・維持管理については、第5回推進会議において、今回の整備は標準を上回る整備であることから、以下と整理された。
 - 行政：ハード整備、大規模修繕、照明設備更新
 - 地域・事業者：日常清掃、植栽管理、利活用、照明維持管理
- 他方で、竹林や紅葉など、専門家による整備・維持管理も不可欠であることから、地域管理を原則としつつ、行政による専門家への発注と組み合わせて実施する。



※上記の対象施設は、竹林の階段、棚田スロープ、紅葉の階段、大寧寺参道、暫定地1～3を念頭としたもの。
駐車場は指定管理者、恩湯広場は湯守が運営・管理～日常管理を担う。

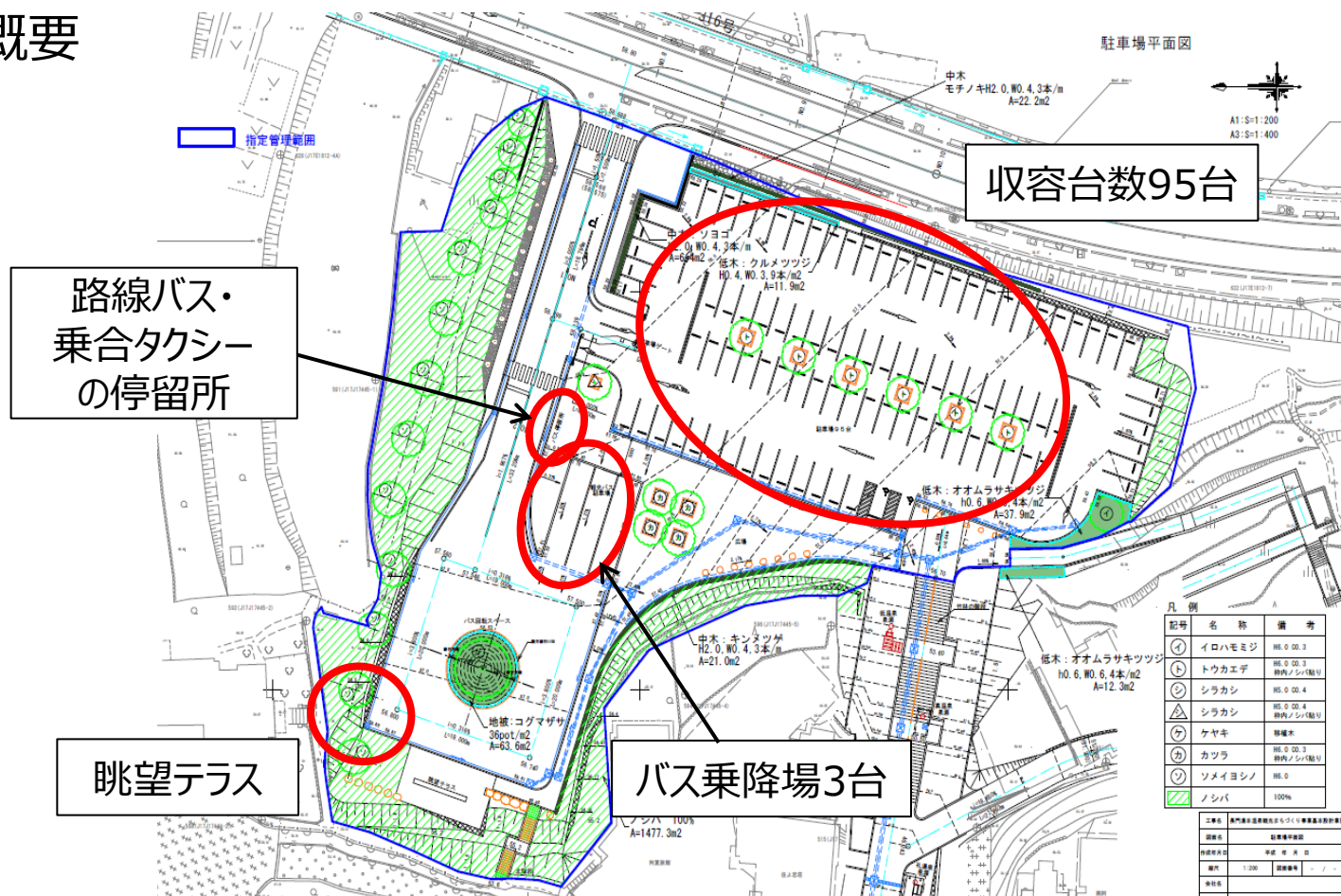
1. 住民参加型の公共空間整備案について

2. **駐車場の運営方針案について**

駐車場の運営方針（案）

- 整備目的
⇒温泉街を訪れる観光客及び恩湯利用者の利便性を高めるために駐車場を整備する。

➤ 整備概要



駐車場の運営方針（案）

➤ 運営の3つの方針

①適正利用

⇒目的外の利用や極端な長時間駐車を抑制するため、ゲート式駐車場とする。

②利用者間の公平性・受益者負担

⇒駐車場を利用する人は、一定空間を一時的に占有するため、負担の公平性の観点から、維持管理費用について受益に応じて利用料金を求める。
ただし、利用料金の設定については、温泉街内の各種事業者との連携が必要である。

③適正な運営

⇒民間活力を活用し、運営業務を効率的かつ効果的に行うために、指定管理者による運営を行う。

駐車場の指定管理における考え方（案）

- 指定管理による運営を行うに際しては、以下の点を考慮しつつ指定管理における条件等の検討を行う。

①維持管理の範囲

駐車場ゲートの維持・管理、料金徴収、敷地内の清掃、植栽の管理、照明等の電気代の負担等について、どの範囲までを管理対象とするか（想定される収入と維持管理による支出のバランスを考慮することが必要）。

②指定管理の期間

新設であり、かつ、観光まちづくり計画における施設（文化体験施設等）が未整備の状況であり、将来需要に変動がありうることから、民間の駐車場管理会社等へのヒアリングを通じて検討を重ね、当面は短期間（例えば1～2年間）での指定管理とし、需要変動リスクに対応することとしてはどうか。

③エリア内の事業者との連携

恩湯や川沿いの商店・飲食店、旅館等との事業者との連携を念頭においた運営ができるかどうか（エリア内の事業者が新たにそれぞれ独自に駐車場を持つことは経営面・景観面からも望ましくなく、限られた温泉街の土地を有効活用する観点からも連携が必要）。

④得られた利益の活用

駐車場運営により得られた利益は、温泉街の更なる活性化に向けて活用されることが望ましく、駐車場以外の周辺エリアも含め、植栽の維持管理や将来的な改修等に再投資を行うなどの仕組みを検討。